

第3号

定価一年間300円
組合員の購読料は
組合費に含む



発行

檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1
Tel 0139(52)0858 FAX(52)1490
発行責任者 石橋英敏
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp



かがやけ みんなのえがお

2019年度政府予算にむけた 文科省概算要求に対する要請署名

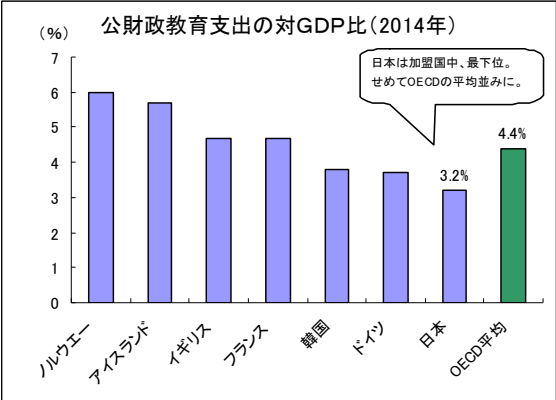
安心して通いたい、 学びたい、 関わりたい

来年度予算にむけた概算要求が7月末までにとりまとめられます。文部科学省の概算要求に、真に子どもたちの教育に必要な内容が反映されるよう、私たちの願いを届けることが急がれます。全日本教職員組合や子ども全国センターなどがすすめる署名が展開されています。「教育予算増」「教育無償化」「教職員定数改善」を柱とした要請内容です(別表)。

子どもの笑顔があふれ、豊かな学びができる学校は、父母、教職員はじめみんなの願いです。幼児教育から大学教育まで、すべての子どもの学ぶ権利を保障し、国の責任で誰もがお金の心配なく安心して学べる条件整備が求められます。

子どもたちの笑顔があふれ、豊かな学びができる学校は、父母、教職員はじめみんなの願いです。幼児教育から大学教育まで、すべての子どもの学ぶ権利を保障し、国の責任で誰もがお金の心配なく安心して学べる条件整備が求められます。

もなるとの調査結果も公表されています。卒業時には数百万から一千万円超の借金を背負って社会に出ざるを得ない多くの学生がいます。また、自治体独自による少人数級の拡充が図られる一方、国による抜本的な見直しは棚上げ状態です。教職員の定数改善は、ゆきとどいた教育を進める上で絶対に必要なことであり、教職員の長時間過密労働を改善するためにも不可欠です。



- 要請事項**
- 教育の機会均等を保障するために、教育条件整備を行うこと
 - ①国の責任で就学援助制度を拡充すること
 - ②必要とするすべての高校生・大学生に支給できるよう、給付制奨学金を拡充すること
 - ③高等学校等就学支援金制度の見直しにあたり、所得制限を撤廃し、公私ともに学費の無償化を前進させること
 - ④高額すぎる大学等の授業料を引き下げること
 - 国の責任で、小・中学校および高校の全学年で35人以下学級を実現するために、教職員定数を計画的に改善すること
 - 障害児学校の過大・過密の解消をはかり、障害児学級の定数改善をおこなうこと
 - 東日本大震災・福島原発事故や自然災害などの被災地における子どもを守るため、学校と地域の復旧・復興をすすめること

道教委

期限付・臨時的任用者を対象に 特別選考 本選考との併願可

道教委は、来年度の北海道公立学校教員採用に関わり特別選考の実施を公表しました。概要は下記の通りで、本選考との併願も可能です。すでに学校現場で子どもの教育にあたっている期限付教員や産休・育休代替などの臨時的任用教員について、1次試験免除など採用選考上の配慮が必要との要求を上げ続けてきましたが、一定の反映が見られた形です。積極的な活用が求められます。

- 受検資格 道内の公立学校で①2015年4月1日～18年3月31日までに24月以上の勤務実績があること(1日勤務した月でも1月換算)②本年4月1～6月29日までに勤務実績があること。
- 検査項目 (1)適性(2)指導案作成(3)個別面接(4)実技
- 検査免除 一定有資格者のリスニング、英語実技の免除
 - ・過去3年間の同区分受検者についての実技検査が一定水準以上の場合はその実技検査免除
 - ・本選考適性検査を受検した場合はその適性検査を免除
 - ・本選考実技検査を受検した場合はその判定結果を使用
- 受付期間 6月15日(金)～6月29日(金)※郵送消印有効
- 検査日 ・実技 8月3日(金)～5日(日)
 - ・適性、指導案、面接 11月23日(金)～24日(土)
- 結果発表 12月28日(金) HP、通知発送
- 登録予定数 受検区分ごとの総登録予定数の5～10%程度(100人程度の見込み)

本選考1次検査が仮に通らなかった場合でも、本制度で受検できるということです。4月～9月の業績評価も判定資料となるので、現場での支援などの対応も求められます。



国中最下位です(グラフ)。せめて加盟国平均並みへの改善が求められます。幼稚園から大学までの教育無償化、給付型奨学金の拡充、30人学級完全実施などが可能になります。教育予算増を求める要請署名(えがお署名)への協力を心から呼びかけます。

核兵器NO! 歩く、60年 国民平和行進2018

檜山路を行く



せたな集会一道退職松山支部長・福原賢規氏の挨拶を聞く参加者



江差行進「核兵器なくそう」と声をあげながらいしえ街道を歩く

5月29日・30日、国民平和行進が檜山路を歩きました。同行進は、1958年6月20日、西本あつしさんが被爆者や広島市長に見送られ、原水爆禁止世界大会が開催される東京に向けて歩き始めたのが最初です。以来60年、毎年、全国津々浦々から原水爆禁止世界大会の開催地、広島と長崎をめざして網の目の行進が広がられてきました。

日本海南コースとなる松山では、5月29日に行進者・山口逸郎さん(86歳)を迎え、同日、せたな町で行進が行われました。21名が参加し、町内を元氣よく行進しました。

翌30日には、江差町で通し行進を迎え、58名がいしえ街道から町の中心部に向けて行進しました。道々で、「核兵器をなくそう」「平和な世界を築こう」などと大きな声で訴えました。

通し行進者の山口氏は、映画製作に携わった方で、「翼は心につけて」の企画・製作も担当されました。あいさつで、「映画づくりと平和希求は一体だったと振り返り、歴史の真実に向き合う表現者としての使命を熱く語りました。90歳を超える参加者がいたことに感動もひとしおで、「86歳はまだだまだ若い」と

政府は、所得が最も少ない10%層に合わせて、生活保護基準を10月から3年間で最大5%引き下げることを決めました。食事もままならないどん底の生活からやつと救われた人々が、また元の生活へと突き落とされる事態が…。反貧困ネットワーク集会での、あるシングルマザーの方の発言を紹介します。国会でも取り上げられ、話題になりました。

無保険で病院にも行けず…

今回の政府案が通ってしまうと、私の世帯は引き下げ率が高い世帯となってしまいます。引き下げの理由は、「一般低所得世帯」と比した時、私たちの支出額の方が上回ったからだと言われました。でも私はここは大変疑問に思うところです。

生活保護が受けられるようになる前、つまり今回で言うところの「一般低所得世帯」であった頃の私たちの生活は、とてもとても厳しいものでした。

私は、今より8キロ以上痩せていました。子どもを育てるために自分はあまり食べずにいました。不安感が強すぎて感覚が鈍くなっているのか、るときはおなかがすいているのに、家に帰って子どもの前にするとその感覚を失うのです。貧しいのいなのだから私は食べてはダメ、という強迫に近そこにはありません。

お風呂はお湯の温度をギリギリまで下げておシャワーは使わず、3人一緒に入っていました。あがる時は、浴槽の中にはずいぶん冷めた子どもたちは「寒い、寒い」と言いながら、大急ぎで室内の電気も暗くなるギリギリまでつけず、て早々と布団に入っていました。夜、テレビを見一番つらかったのは無保険だった期間です。れていけません。息をひそめ、薄氷の上でもそんな生活は、外側からは見えにくい生活なので、周囲には悟られないようにして「一般低所得世帯」の中には、そんな生活せん。国には、そんな生活が人として健全な暮らし。本当に必要な対策は、生活保護費を下げるの生活実態を把握して考えていくことではないでつらくて惨めな生活は、生活保護を受けるよ子どもたちに食べさせてあげられる安心感、それは母親としてとても幸せなことでした。私には、国が神様のように見え。心から感謝しました。

そして思ったことは「この負の連鎖を断ち切りたい。子どもたちを心も体も丈夫な子に育てよう。それが助けていただいた国に対して私のできる恩返しなんだ」——そう思って今を生きています。

ただ、今回の引き下げが決定したとき、「今度はどこを削って生活しよう」と。光熱費も食費も今が限界です。子どもたちの将来かかってくる学費や、今現在使っている塾代を削る。そこしかありません。本当は感謝したい国に対して、反対意見を出すということがとても悲しいです。どうか親子ともに自立しようと思う気持ちを折らないでください。

もたちを食生活に対す外に出ていどもたちを私にせ感情が、湯をため、お風呂かわずかなお湯が残っているだけ。当時、子体を拭いていました。子どもたちを早く寝かせて私も電気を消しることの楽しみもない夜です。3年間、幼い子どもたちを一度も病院に連歩いているかのような生活でした。態であったと思います。あまりにも恥ずかしました。している世帯が多く存在しているかもしれないかどうか、目を向けていただきたことではなく、保護受給世帯や低所得世帯しょうか。うになってから天国のようになりました。子どもたちに食べさせてあげられる安心感、それは母親としてとても幸せなことでした。私には、国が神様のように見え。心から感謝しました。

決意をみなぎらせました。なお、この日、奥尻町を訪れていた北海道原水協事務局長の島田千津子さんが合流、町長や教育長などから核兵器廃絶への賛同署名をいただいたことを報告しました。これで、松山では全町の首長が署名したことになり、文字通り「核兵器禁止・核廃絶」は地域を覆う声となりました。

広島・長崎をめざし行進は今も続けられています。



うれしいとき、かなしいとき
にあなたを応援します。

総合共済

月々600円

- 結婚祝金に10,000円
- 出産祝金で5,000円
- 災害見舞金に10万円(全壊)など他にもいろいろ

さらに退職時には
掛金が全額戻ります!

資料をお求めの方は檜山教職員組合へお気軽にどうぞ